

お知らせ

被災地への防犯カメラの設置については、警察が保有するカメラなど約600台の設置を進めているほか、令和5年度一般会計予備費において約400台の調達に必要な経費を計上しました。
これら合わせて約1,000台のカメラを活用し、現場のニーズが高い場所を対象に必要な箇所への設置を進めます。

本日の派遣人員数

約1,100人

延べ派遣人員数
(令和6年1月1日以降)

約32,900人

安全・安心の確保

【特別自動車警ら部隊】（パトロール活動等）

29都府県警察 約360人（1月28日）
(青森、岩手、宮城、福島、警視庁、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、静岡、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)



- ◆ 石川県警察及び特別自動車警ら部隊が、珠洲市等においてパトロール等を実施し、避難所182か所において警戒（1月28日）
- ◆ パトロールの状況を情報発信

★防犯カメラの運用★

輪島市、珠洲市等3市4町に設置



【特別機動捜査部隊】（初動捜査対応等）

2府6県警察 約50人
(埼玉、千葉、静岡、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

犯罪認知状況

【災害に便乗した刑法犯の認知件数（石川県内）】
避難中の家屋への空き巣や避難所における置引き等

32件（発災後1月28日17時までの把握分）

【特別生活安全部隊】（避難所における相談対応等）

13府県警察 約60人（1月28日）

(岩手、福島、福井、岐阜、愛知、大阪、奈良、和歌山、鳥取、島根、広島、愛媛、高知)



- ◆ 石川県警察及び特別生活安全部隊が、輪島市等の避難所72か所を訪問し、相談対応や防犯指導等を実施（1月28日）

※ 数値等はすべて速報値のため、今後変更される可能性があります。
※ 特記のない数値は、1月29日12時00分現在のものです。

交通流の確保、被災地域の搜索等

交通規制実施状況 (1月29日14時現在)

災害復旧や救援物資輸送に係る車両に特化するための交通規制を実施

- のと里山海道下り線 (金沢→穴水方向)
柳田 I C ~ 横田 I C



◆ 石川県警察と共に、栃木県警察、神奈川県警察、大阪府警察、兵庫県警察、奈良県警察 (約140人) が、輪島市やかほく市等において、交通整理等を実施

【広域緊急援助隊・緊急災害警備隊】 (救出救助活動、交通整理等)

10都県警察 約600人
(警視庁、栃木、神奈川、静岡、新潟、三重、滋賀、兵庫、大阪、奈良)



◆ 石川県警察及び広域緊急援助隊・広域警察航空隊において延べ113人を救出救助 (1月29日5時現在)
(内訳：輪島市75人、七尾市2人、珠洲市29人、能登町4人、志賀町3人)

被害状況

(1月29日14時現在)
(石川県まとめ。石川県において発表済み)

死者238人
(内訳：七尾市5人、輪島市101人、珠洲市101人、羽咋市1人、志賀町2人、穴水町20人、能登町8人)

【広域警察航空隊】(被害情報収集活動等)

6府県警察 4機・約20人
(静岡、三重、京都、大阪、兵庫、福岡)

◆ 広域警察航空隊において、情報収集活動等を実施

【情報通信支援体制】(警察通信施設の維持等)

東北管区警察局、中部管区警察局、東京、岐阜、三重 約20人

体制

1月1日 16:10頃	発災
同日 16:11	警備局長を長とする災害警備本部を設置
同日 17:30	次長を長とする特定災害警備本部に改組
同日 22:40	長官を長とする非常災害警備本部に改組

※ 数値等はすべて速報値のため、今後変更される可能性があります。
※ 特記のない数値は、1月29日12時00分現在のものです。

活動の様子



避難所における防犯指導



道路が寸断された警察通信施設における機能維持作業



土砂災害現場における搜索



のと里山海道における交通規制